

BSMLW03シリーズ

取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお守りください



絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示しています。

- 電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。**
 - 分解、改造、修理しない。
 - 電極の(+)と(－)を針金等の金属で接続しない。また、金属性のネックレスやヘアピン、カギ等と一緒に持ち運んだり、保管したりしない(接触し、ショートする危険性があります)。
 - 火の中に投入したり、100℃以上の高温の場所や水の中に放置しない。
 - 釘を刺したり、かなづちで叩いたり、踏みつけたりしない。
 以上のことを守らないと、液もれ・発熱、発火、破裂し、やけどやけがをする恐れがあります。
- 電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。**
 電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところで保管・使用するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。



絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の指示を守らないと、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電池を取り扱うときは、次のことをお守りください。**
 - 電極の(+)と(－)を間違えて挿入しない。
 - 消耗きった電池を入れたままにしない。使用済みの電池は、地方自治体の条例に従って正しく処分する。
 - 長期間使用しないときは、電池を取り外し、常温の乾燥した場所に保管する。
 以上のことを守らないと、液もれ・発熱、発火、破裂し、やけどやけがをする恐れがあります。
- 電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください。**
 指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。
- 電池内部の液がもれたときは、液に触れない。**
 やけどの恐れがあります。もし、液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。



この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品を次の場所に設置しないでください。感電・火災の原因になったり、製品に悪影響を与える場合があります。**
 強い磁界・静電気・震動が発生するところ、平らでないところ、直射日光があたるところ、火気の周辺または熱気のもてることろ、漏電・漏水の危険があるところ、油煙、湯気、湿気やホコリの多いところ。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**
- 本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。**
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。**
- 異常を感じた場合は、即座に使用を中止し、弊社テクニカルサポートセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。**

マウスご使用時の注意

- センサー部分を汚したり、傷つけたりしないでください。
- ボタンが常に押されている状態や、マウス本体が常に動かされているような状態が長く続くと、電池の消耗が速くなりますので注意してください。
- カバン、袋などに入れて持ち歩くときは、電源をOFFにしてください。
- 無線LANの近くでご使用になると、マウスの反応が悪くなる場合があります。その場合は、無線LANのチャンネルを変更していただくか、本製品の使用を中止してください。

レーザー式センサーご使用時の注意

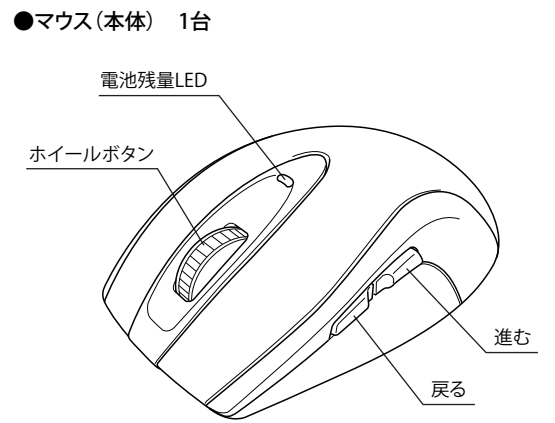
本製品は、不可視レーザーを使用しているため、目に障害をきたすことのないclass1該当品ですが、レーザー発光部分を直視することは避けてください。ガラスや鏡面などの上では正常に動作しない場合があります。

電波に関する注意

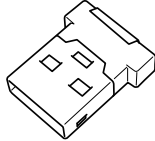
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
 電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 ・本製品を分解・改造すること
 ・本製品の裏面に貼ってある認証ラベルをはがすこと
- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 ・産業・科学・医療用機器
 ・工場・製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 ① 構内無線局 (免許を要する無線局)
 ② 特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)
- 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社テクニカルサポートセンターへお問い合わせください。

| | |
|----------|------------------------------------|
| 使用周波数帯域 | 2.4GHz |
| 変調方式 | MSK方式 |
| 想定干渉距離 | 6m以下 |
| 周波数変更の可否 | 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避不可 |

付属品がすべて揃っていることを確認します



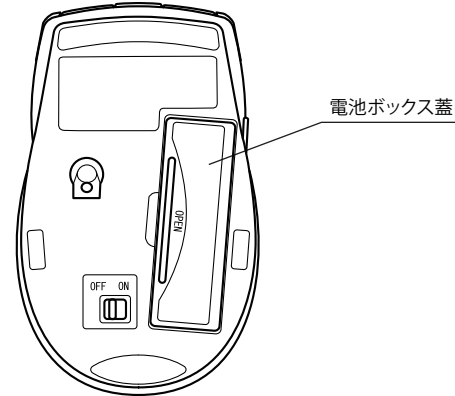
- レーザーバー 1台
- アルカリ単3乾電池 1本 ※動作確認用



※ 左クリックとホイールボタンを2秒同時に押すことで、DPIを800dpi⇄1600dpiに切替可能です。

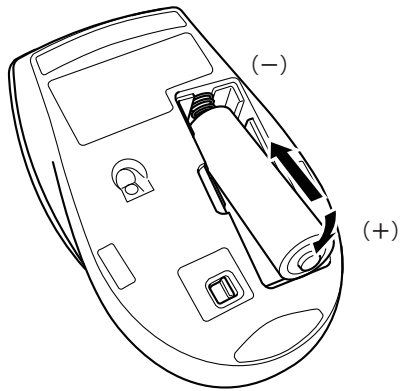
本製品の使用方法

- 本体裏面にある電池ボックスの蓋を開けます。

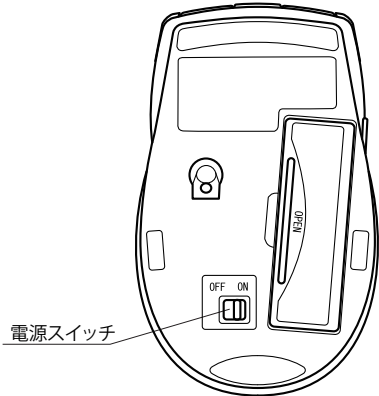


裏面につづく▶

- 単3乾電池を矢印の方向に挿入します。
※＋と－を絶対に間違えないでください。



- 電池ボックスの蓋を開めます。
- 本体の電源スイッチをONにします。



- レーザーバーをパソコンのUSBポートに接続します。本製品はパソコンの電源が入った状態で接続すると、ドライバーが自動で組み込まれ、使用可能になります。

本製品は出荷時の状態で、マウスとレーザーバのコネクタが完了していますのでコネクタ作業は不要です。万が一、コネクタが外れた際は、右記の(無線の再接続手順)をご認識の上、再接続を行ってください。

<おことわり>

本マウスは同梱されているレーザーバーのみ専用で動作可能となっております。万が一レーザーバーを紛失された場合、同一機種でも他のレーザーバーではご使用できません。レーザーバーは非常に小さくなっていますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

無線の再接続手順

- 本体の電源スイッチをOFFにします。
- 本体の右ボタンと左ボタンを同時に押したまま本体の電源スイッチをONにし、約3秒間維持します。
- レーザーバーのLEDが点滅したら、接続完了です。

電池残量LEDの表示について

電池残量が無くなりかけた場合は、赤色に点灯します。その場合は電池を交換してください。

電波到達距離について

- ・非磁性体(木の机など) ⇒ 約10m
 - ・磁性体(鉄製の机など) ⇒ 約3m
- ※ 弊社テスト値につき、保証値ではありません。

保証契約約款

この約款は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。お客様がこの約款に同意された事項に同意しない場合は保証契約を取り消すことができますが、その場合は、ご購入の製品を使用することなく(販売店または弊社にご返却下さい。なお、この約款により、お客様の法律上の権利が制限されるものではありません。

第1条(定義)
1 この約款において、「保証書」とは、保証期間に製品が故障した場合に弊社が修理を行うことを約した重要な証明書といします。
2 この約款において、「故障」とは、お客様が正しい使用方法に基づいて製品を動作させた場合であっても、製品が正常に機能しない状態をいいます。
3 この約款において、「無償修理」とは、製品が故障した場合、弊社が無償で行う当該故障箇所の修理をいいます。
4 この約款において、「無償保証」とは、この約款に規定された条件により、弊社がお客様に対し無償修理を約束することになります。
5 この約款において、「有償修理」とは、製品が故障した場合であっても、無償保証が適用されないとき、お客様から費用を頂戴して弊社が行う当該故障箇所の修理をいいます。
6 この約款において、「製品」とは、弊社が販売し、修理して梱包されたもののうち、本体部分とい、付属品および添付品などは含まれません。

第2条(無償保証)
1 製品が故障した場合、お客様は、保証書に記載された保証期間内に弊社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、次の各号に掲げる場合は、保証期間内であっても無償保証の適用を受けることができません。
2 修理をご依頼される際に、保証書をご提示頂けない場合。
3 ご提示頂いた保証書が、製品および製品シリアルNo等の重要事項が未記入または修正されていること等により、偽造された疑いのある場合、または製品に表示されるシリアルNo等の重要事項が消去、削除、もしくは改ざんされている場合。
4 販売店様が保証書にご購入日の証明をされていない場合、またはお客様のご購入日を確認できる書類(レシートなど)が添付されていない場合。
5 お客様が製品をお買い上げ頂いた後、お客様による運送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合。
6 お客様における使用上の誤り、不当な改造もしくは修理、または、弊社が指定するもの以外の機器との接続により故障または破損した場合。
7 火災、地震、雷害、風水害、その他天災地災、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合。
8 消耗部品が自然摩耗または自然劣化し、消耗部品を取り換える場合。
9 前各号に掲げるほか、故障の原因が、お客様の使用方法にあると認められる場合。

第3条(修理)
この約款の規定による修理は、次の各号に規定する条件の下で実施します。
1 修理のご依頼時には製品を弊社テクニカルサポートセンターにご送付ください。テクニカルサポートセンターについては製品別の特典マガジン(電子マニュアル)をお読み下さい。またはウェブサイトをご覧ください。尚、送料及び送料負担とさせていただきます。また、ご送付時には宅配便など送付先が異なる方法でご送付ください。郵送は返却のみ取ります。
2 修理は、製品の分解または部品の交換もしくは補修により行います。但し、万一、修理が困難な場合または修理費用が製品価格を上回る場合には、保証対象の製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換する事により対応させて頂く事があります。
3 ハードディスク等のデータ記録装置またはメディアの修理に際しましては、修理の内部により、ディスクもしくは製品を交換する場合またはディスクもしくはメディアをフォーマットする場合などがござえますが、修理の際、弊社は記憶されたデータについてバックアップを作成いたしません。また、弊社は当該データの破壊、消失などにつき一切の責任を負いません。
4 無償修理により、交換された旧部品または旧製品等は、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きます。
5 有償修理により、交換された旧部品または旧製品等についても、弊社にて適宜廃棄処分させて頂きますが、修理をご依頼された際によりお客様からお預り受け付けば、旧部品等を返品いたします。但し、部品の性質上ご意向に添えない場合もございます。

第4条(免責事項)
1 お客様がご購入された製品について、弊社に故障または重大な過失があった場合を除き、債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
2 お客様がご購入された製品について、修理した箇所の劣化の場合は、この劣化した箇所のわずかな、無償にて当該箇所を修理、または取替のない、製品または同等品と交換致しますが、当該箇所に基づく損害賠償の責任は、弊社にはありません。
3 弊社は有償保証は、お客様が購入された製品の機能に障害するものでないハードディスク等のデータ記録装置について、記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

第5条(有効範囲)
この約款は、日本国内においてのみ有効です。また海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

・製品の仕様、デザイン、および本書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
・BUFFALO™は、株式会社メルコホールディングスの商標です。本書に記載されている他社商標™は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは記載していません。